

Letters

レターズ / 会員の皆さんから寄せられたお便りをご紹介します。

奈良県

O・Yさん

先月入会したばかりです。

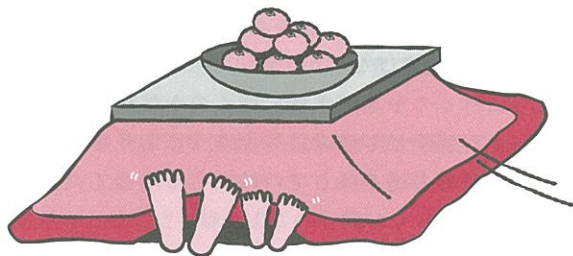
二男出産後、20日も経たないうちに夫が事故死しました。当時、年長の長男を通い慣れた保育園で卒園させてやりたいとの思いから、1年ほどは地域の方々や友人に支えられ生活していましたが、長男が小学校に入学するのを機に、この4月、実家近くに転居しました。転居先の市役所でこの基金のチラシをいただき知りました。

新生活のスタートや私の仕事復帰のドタバタで一時忘れていたのですが、小学校の出費が意外にもあること。これからの生活の不安を考えていた時にふと思い出し電話をかけました。最初は半信半疑。そんな私の気持ちが伝わってしまったのでしょうか、「詐欺ではありませんよ」と事務所の方の優しいお言葉(笑)でも、申し込んだ後も、証書が送られてくるまでの日がとても長く感じて、「やっぱり騙された…」とってしまいました(笑)

申込用紙と同封してくださったパンフレットやレターズの投稿欄は涙なしでは読めませんでした。私だけ…と卑屈になっていたことに恥ずかしさを覚え反省。反面、こんなにも同じ境遇の人がいるのだと苦しくなりました。

転居前の市役所ではこの基金のチラシはありませんでした。転居しなかったら知らなかったでしょう。もっともっと周知できるような環境が整ったらなと思います。

これから長いお付き合いになります。どうぞよろしく願いいたします。



新潟県

N・Cさん

いつもお世話になっております。

夫が亡くなり早13年、長男は19歳、次男は13歳になりました。当時は現実を受け入れられず、2人の子どもにどう話したらいいのか…これからどう生きていけばいいのか…毎日「生きていく」のが精一杯でした。しかし「親はなくとも子は育つ」の言葉通り、子どもたちは周囲の人に支えられ、見守られ、なんとか成長してってくれました。そんな子供を見て、自分も「頑張らねば…」と現在に至っています。

長男は4月から家を出て初めての一人暮らしを始めました。生活(自立)の大変さを痛感しているようです。自分が選んだ道なので頑張りたいと思います。次男は部活(野球)に励む毎日で、週末は方々へ応援に走り回った一年でした。2人ともこれからの人生悔いの残らない様に過ごしてほしいと願っています。

末筆となってしまいましたが、長男は基金を卒業しますが次男はもうしばらく基金のお世話になりますので、これからもよろしく願います。そして長い間本当にありがとうございました。

東京都

Y・Yさん

長い間お世話になりました。毎月の入金は子どもの教育資金や安定した生活を送るための充填に使わせていただき過ぎてまいりました。

本人は今年大学に進学し、自分の夢に向かって新生活を始めました。最後になりましたが、貴基金の職員の皆様のご健勝をお祈りしてお礼の言葉に代えさせていただきます。



茨城県

O・Uさん

いつもありがとうございます。

今年夫の3回忌を済ませ、やっと新しい生活にも慣れてきたところです。6歳の息子も、夫の両親や私の両親の協力もあり、元気に学校に通っています。

先日は義父に自転車の乗り方を特訓してもらい、1日で自転車の補助輪を取ることができました。夫が子供の頃、息子と同じように義父の特訓を受けたのだという話を聞き、「パパが生きてたら、息子もパパに自転車の乗り方を教わったんだろうな、パパも補助輪なしで自転車に乗る息子を見て大喜びしたんだろうな」と思い、涙があふれてしまいました。

まだまだ悲しみは消えることはなさそうですが、前向きに暮らしていこうと思います。今後ともよろしくお願い致します。



鳥取県

M・Sさん

二年前の長男に続き、次男も無事給付金終了の日を迎えることができました。5歳の時に父親を亡くしてから19歳までの14年間、いろんなことがありました。過ぎてみればすべていい思い出です。

現在、志望大学学部を目指して浪人中の次男ですが、夢をかなえるため、これまで大事に貯めてきた給付金を使わせて頂こうと思います。手元があればなんとかなしに使ってしまっていたであろうお金が、子どもの名前ですべて送られてくるので、このお金は将来の進学資金にと思い、苦しくても手を付けませんでした。親元を離れ、お金のかかるこれから出番を迎えます。このように計画できたのも交通遺児等育成基金があればこそです。長い間、本当にありがとうございました。

匿名希望さん

この度、育成給付金終了のお手紙をいただき、娘ももう19歳になったかと感慨にふけておりました。主人を亡くした当時は、娘と女二人でどうやって生きていこうか、不安で仕方ありませんでした。

小学3年生の娘を学童保育に入れ働き、家では家事や炊事に追われ、平日は娘と過ごす時間も少なく、親子間のコミュニケーションをどのようにしていけばいいのか悩んでおりました。そんな時ママ友に教えてもらった、親子で参加するお料理サークルに入り、毎週娘と通うようになりました。サークルでは娘と一緒に料理を作って食べ、子ども同士、母親同士の友人もたくさんでき、サークルをやめた今もその付き合いは続いています。今思えば事故後しばらくは「仕事をしなければ、家事をしなければ、子どもを育てなければ」と、すべて自分で抱え込んでいました。一歩家の外に出てみれば娘と楽しめる居場所も、悩みを語り合える友人も出来ました。同じような境遇で悩んでいる親御さんにも、ぜひ家の外に目を向けてもらいたいと思います。

長い間お世話になり、本当にありがとうございました。

山口県

S・Rさん

次女が無事高校生となり、橋本給付金をいただきありがとうございました。

中学生の頃から学校を休みがちになり、このまま不登校になってしまうのだろうかと心配しておりましたが、フリースクールでいい先生や友達に恵まれ、なんとか進学することができました。高校も時々行きたがらない日もありますが、中学よりは楽しいらしく、休日も学校の友達と遊びに行ったりして一安心です。

子育てで悩むとき、ここに父親がいてくれたら相談し合いながら解決法を見つけていけるのに、と考えます。私が母親役父親役を両方うまくできればいいのですが、現実はなかなか難しいです。高校卒業後、大学に行くのか専門学校に行くのか就職するのか、まだまだ親子とも悩みは尽きそうにありませんが、二人で最善の道を探していけたらと思っています。今後ともよろしくお願いいたします。

新潟県

Y・Sさん

主人が亡くなった時にまだ小学2年生だった娘も大学生となり、基金を卒業する歳になりました。当時不安だらけの時にこのような基金があるのを知り、とても心強かった事を思い出します。今では私より大きく成長した娘を見ると、時の流れを感じます。長い間とてもお世話になりありがとうございました。

千葉県

Y・Kさん

主人が亡くなってすぐ私の母がガンで亡くなり、父はすでに他界、主人の家族は疎遠になりこれからどうしようかと不安でいっぱいでした。当時小学校5年生の長女は大学を卒業して働いています。小学校3年生だった長男は、今大学4年生で就職も決まり学生生活をエンジョイしています。幼稚園生だった次男は美容師を目指し専門学校で頑張っています。こうして3人とも好きな道に進めたのも、貴基金のおかげです。ありがとうございます。まだ交通遺児等育成基金のことを知らない人がいっぱいいます。もっと知ってもらいたいです。

また、私たちのようにつらい思いをする人が少しでもなくなることを願います。長い間本当にありがとうございました。スタッフの皆様も健康に気を付けてください。感謝の気持ちでいっぱいです。少しでも恩返しできるように努力します。本当にありがとうございました。

青森県

F・Mさん

長い間、育成給付金の給付、たいへんお世話になりました。今回、長男が給付完了となり、2歳上の長女と、二人分お世話になりました。貴基金のおかげで金銭的に心配せずに安心して子育てをすることができました。

現在、長女は仕事に励み、長男は大学へ通っています。皆元気に過ごすことができて大変感謝です。本当にありがとうございました。

大阪府

N・Cさん

この度長男が19歳を迎え、基金の給付も完了を迎えました。長い間支えて頂きありがとうございました。また橋本給付金、基金だより等感謝しております。

17年前主人が他界し当時2歳だった息子が「パパは？」と何度も探す姿を見てはつらい思いをしたことを思い出します。高校時代は非行に走り、墮落した生活を送り、親として悩む日々が続きました。そんな息子も今では夢に向かってがむしゃらに努力し頑張っております。

親子喧嘩もたくさんし、腹が立つことも多いですが、温かく時には厳しく見守っていきたいと思います。まだ娘が高校生なので貴団体にはもう少しの期間お世話になりますが、よろしく願います。

愛知県

Y・Mさん

この度は、橋本給付金、図書カードをいただき心よりお礼申し上げます。入学準備に充てさせていただきます。

この春、三女は養護学校の高等部へ進学することになっております。重度の知的障害、自閉症と大きなハンディを抱え、日々様々な混乱や不安があり、大変ではありますが、高校生活を頑張ってもらいたいと思っています。そして、親としてしっかり支え見守って行きたいです。

【基金事務局より】

新年明けましておめでとうございます。

加入者のみなさんはもう3学期が始まった頃かと思います。今年も勉強に部活に遊びに、全力で頑張ってくださいね。加入者の保護者様におかれましては、まだまだ寒い日が続くかと思うので、お子様、保護者様ともご自愛ください。

今年は午(ウマ)年。皆様にとって色々なことがウマくいく一年になりますよう、基金スタッフ一同願っています。